

autoCULT

Bugatti Type 68 Coupe (フランス, 1945)

小型車

scale 1/43

#03022

available

06/2022

limited edition 333 Stck.



ビッグネームを持つ小さなフランス人

エttore・ブガッティは、一時期、あまり裕福でないフランス人にも自分のブランドの車を提供することを真剣に考えたことがあった。

おそらく、この才能に恵まれたカーデザイナーは、自分の考えたクルマに対する基準を甘くするなどということは夢にも思っていなかったのだろう。そのため、計画された小型車は、このクラスのクルマとしては非常に豪華なものになったのも不思議ではない。クロード・クーペとして設計されたこのクルマは、ガルウィング・ドアから乗り込む2人乗りのスペースが確保されている。ブガッティの有名で、高貴で、大きな車に乗っているような感じを出したかったのだろう。外観、特にフロントの印象的なラジエーターグリルは、この特徴を強調しており、アトランティックを彷彿とさせる部分もあった。

この小さなガルウィングの車には、社

内で68という型式が与えられた。このミニ・ロードスターは、1942年におそらく唯一、製造されたものである。

戦争が続いていたためにこの小型車の計画が頓挫したかどうかは、定かではない。エttore・ブガッティがこのプロジェクトに興味を失ったかもしれない可能性が不確かなのと同じように。しかし、小型車という一般的なアイデアは、彼の頭から離れることはなかった。

それからわずか2年後の1944年、彼は再び「ミニ」ブガッティの製作に没頭する。しかし、今度はもっとシンプルな車、つまり小さなロードスターを設計した。2シーターで、ドアもルーフもなく、ファブリックトップさえない。フェンダーの張り出しは1942年の1号車よりはるかにシンプルになったが、基本構造は先代モデルからの借用が見られる。ブガッティの分類では、ガルウィングの有無を考慮して68Bという呼称が

与えられている。しかし、この呼称からは、エttore・ブガッティが両方の小型車の生産を意図していたのか、それともガルウィングバージョンを却下したのかは、うかがい知ることは出来ない。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de